

使おう! coLinux!

http://www.colinux.org/

~ やりたい放題のMy Linux ~



Yoshiyuki Mikami yoshuki@saikyoline.jp



coLinuxって?

- 正式には「Cooperative Linux」。
- Windows上で動かせるLinuxカーネル。
 一選べるディストリビューション。







どこがいいの?

- 専用マシンが必要ない。
 –いつも使ってるWindowsマシンでOK。
- Linux上のファイルシステムはWindows 上ではふつうのファイル。
 - -Windows上でファイルをコピーすればどこ でも同じ環境が再現できる。

-環境を壊してもすぐに復元できる。





なにがいいの?

- 自分のPC内で完結する。
 一他人に気兼ねせずに使える。
- エミュレータではない。
 - ー動作が軽い。
 - 「本物」のLinux環境で動作確認ができる。







動くの?





ハードウェア視点での構成







ソフトウェア視点での構成









いうことで。







colinux!!







coLinux インストール大会!!





それでは、

始めます。





1. ダウンロード

http://sourceforge.net/projects/colinux/

About Cooperative Linux

Cooperative Linux is the first method for optimally running Linux on Windows and other operating systems natively. It is a port of the Linux kernel and support code that allows it to run cooperatively without emulation along with another operating system



Download Cooperative Linux

Project Admins: da-x

Operating System: 32-bit MS Windows (NT/200934P), All 32-bit MS Windows (95/98/NT/2000/XP), All POSIX (Linux/BSD/UNIX-like OSes), SS Independent (Written in an interpreted language), Linux, Win2K, WinXP License: GNU General Public License (GPL)





😚 Cooperative Linux 0.6.3 Setup					
	Welcome to the coLinux 0.6.3 Setup Wizard				
	This wizard will guide you through the installation of Cooperative Linux 0.6.3				
	Click Next to continue.				
	Next > Cancel				





3. インストール (2)







4. インストール (3)







5. インストール(4)







6. インストール (5)



これを使ってWindowsとcoLinuxをつなぐのでこのまま続行。





🗑 Cooperative Linux 0.6.3 Setup					
	Completing the Cooperative Linux 0.6.3 Setup Wizard				
	Cooperative Linux 0.6.3 has been installed on your computer.				
	Click Finish to close this wizard.				
	Show Readme				
	(読みましょう。				
	Visit the Cooperative Linux website				
	< Back Finish Cancel				





8. これでインストール

完了!!

それでは、設定へ・・・。 ここから細かくなります。





9. rootイメージの準備

coLinuxをインストールしたディレクトリ(ここでは「c:¥coLinux」)にダウン ロードされているイメージファイルを展開して、ファイル名を変更します。

※bz2ファイルを展開すると1GBになります。

C:¥coLinux>dir | find "Debian" 2006/02/28 00:55 1,073,741,824 Debian-3.0r2.ext3-mit-backports.1gb 2006/02/28 00:20 29,348,737 Debian-3.0r2.ext3-mit-backports.1gb.bz2

C:\colinux>rename Debian-3.0r2.ext3-mit-backports.1gb root_fs

C:\u00e4coLinux>dir | find "root_fs" 2006/02/28 00:55 1,073,741,824 root_fs

C:¥coLinux>





10. swapイメージの準備

fsutilコマンドを使って、swapイメージファイルを作成します。 (ここでは256MB(1024*1024*256=268435456)を指定しています。)

C:¥coLinux>fsutil file createnew swap_device 268435456 ファイル C:¥coLinux¥swap_device が作成されました

C:\u00e4coLinux>dir | find "swap_device" 2006/02/28 01:52 268,435,456 swap_device

C:¥coLinux>





11. 設定ファイルの準備

「C:¥coLinux¥default.colinux.xml」が設定ファイルのテンプレートです。 これをコピーして使用します。

C:¥coLinux>copy default.colinux.xml colinux.xml 1 個のファイルをコピーしました。

C:¥coLinux>dir | find "colinux.xml" 2006/02/06 05:35 1,763 colinux.xml 2006/02/06 05:35 1,763 default.colinux.xml

C:¥coLinux>

ファイルを開くと分かりますが、ここまでのディレクトリ名やファイル名は このテンプレートに沿っているため、ここでは更新する必要はありません。 が、スワップファイルに合わせて(普通は逆ですね:-P)メモリサイズを変更 しておくことにします。「<memory size="64" />」→「<memory size="256" />」





₩

12. そして・・・

C:\colinux-daemon.exe -c C:\colinux\colinux.xml

起動!





13. 起動確認





開きます。左がcoLinux本体。これを閉じちゃうとcoLinuxが落ちちゃいますので、開きっぱなしにしておいてください。 右はコンソール。こちらのウィンドウで作業します。





14. ログイン









作成したスワップイメージを初期化し、有効にします。

colinux:~# mkswap /dev/cobd1
Setting up swapspace version 1, size = 268431360 bytes
colinux:~# swapon /dev/cobd1
Adding 262136k swap on /dev/cobd1. Priority:-1 extents:1

次回の起動から有効になるように、fstabに追加します。

colinux:~# echo "/dev/cobd1 swap swap defaults 0 0" >> /etc/fstab





16. キーバインドの設定(1)

キーバインドがUS(「:」で「'」とか出る)になっているので、日本語キーボードの方はjp106に変更しましょう。

colinux:~# dpkg-reconfigure console-common







17. キーバインドの設定(2)







18. タイムゾーンの設定(1)

タイムゾーンが「US/Eastern」になっているので、「Asia/Tokyo」に変更します。







19. タイムゾーンの設定(2)







20. ネットワークの設定(1)

IPアドレスが「192.168.0.40」になっていてなんか半端な感じがするので、 「192.168.0.10」に変更しています。 ※気にしなければ必要ありません。







21. ネットワークの設定(2)

変更が終了したら「Ctrl+o」→「Enter」→「Ctrl+x」でファイルを上書きして エディタを終了します。

そして、変更した内容を有効にするためにサービスの再起動をします。

colinux:~# /etc/init.d/networking restart
Reconfiguring network interfaces: done.
colinux:~#

hostsにも反映しておきます。







22. ネットワークの設定(3)

DNSサーバはWindowsが仲介してくれる(設定をする)ので、↓のように resolv.confファイルを変更します。

colinux:~# nano /etc/resolv.conf

search valleyhope.com nameserver 192.168.9.199 nameserver 24.225.0.1 nameserver 24.225.0.253



nameserver 192.168.0.1





23. ネットワークの設定(4)

「ネットワーク接続」に「TAP-Win32 Adapter V8 (coLinux)」というデバイスを 使うローカルエリア接続が増えているはずです。



このローカルエリア接続はPC内部に存在する仮想的なネットワークにつながっています。 そのネットワークから外部に接続できるように、Windowsが仲介する設定をする 必要があります。





24. ネットワークの設定(5)

Windowsが外部とつながっている接続 (おそらく「ローカル エリア接続」) のプロパティを開き、「詳細設定」タブ の「ネットワークのほかのユーザに、こ のコンピュータの・・・」をチェックし ます。

複数の接続がある場合には、→のような プルダウンメニューが表示されます。 もし表示されていたら、先ほどのローカ ルエリア接続を選択してください。







25. ネットワークの設定(6)







26. パッケージソースの設定

Debianのパッケージソース(取得元)を日本のサーバに変更します。

colinux:~# nano /etc/apt/sources.list

deb http://ftp.us.debian.org/debian/ stable main
deb-src http://ftp.us.debian.org/debian/ stable main

deb http://security.debian.org/ stable/updates main

deb http://www.backports.org/debian/ stable kernel-image-2.6.6-i386

ftpまたはftp2

deb http://ftp.jp.debian.org/debian/ stable main
deb-src http://ftp.jp.debian.org/debian/ stable main

deb http://security.debian.org/ stable/updates main





27. パッケージリストの更新

Debianのパッケージリストを最新に更新します。

colinux:~# apt-get update

更新状況が表示されます。(ここではftpが重かったのでftp2を指定しました。)

Hit http://security.debian.org stable/updates/main Packages Hit http://security.debian.org stable/updates/main Release Get:1 http://ftp2.jp.debian.org stable/main Packages [3349kB] Get:2 http://ftp2.jp.debian.org stable/main Release [95B] Get:3 http://ftp2.jp.debian.org stable/main Sources [1322kB] Get:4 http://ftp2.jp.debian.org stable/main Release [97B] Fetched 4670kB in 15s (303kB/s) Reading Package Lists... Done Building Dependency Tree... Done





28. SSHサーバの設定(1)

標準のコンソールは使い勝手がアレなので、SSHサーバを立てて、使い慣れ ているターミナルエミュレータでアクセスすることにしましょう。 インストールはコマンドー発です。Viva! Debian!!









29. SSHサーバの設定(2)

Debconfが起動しますが、質問の優先度を「critical」(システムが壊れることが ない限り質問はしない。)にして、任せることにします。







30. SSHサーバの設定(3)

この時点ではSSHでのパスワードログインが許可されていないため、許可するよう設定ファイルを変更します。

colinux:~# nano /etc/ssh/sshd_config

Change to yes to enable tunnelled clear text passwords PasswordAuthentication no



PasswordAuthentication yes





31. SSHサーバの設定(4)

変更した内容を有効にするためにサービスの再起動をします。

colinux:~# /etc/init.d/ssh restart
Restarting OpenBSD Secure Shell server: sshd.
colinux:~#

これでSSHサーバの準備ができました。 使い慣れたターミナルエミュレータで接続してみましょう。 rootログインが許可されている状態なので「root / root」でOKです。

※ここではcoLinuxのIPアドレスは「192.168.0.10」となっているはずです。





32. Windowsサービス化(1)

以上でひとまず使えるようになりましたが、起動するたびにウィンドウが開い ては使いにくいと思います。 そこでcoLinuxをWindowsのサービスとして登録してしまいましょう。

まず、コンソールからシャットダウンします。

colinux:~# shutdown -h now

起動したコマンドプロンプトに「Power down.」と表示されればシャットダウン完了です。開いている2つのウィンドウを閉じてください。





33. Windowsサービス化(2)

サービス登録オプションをつけて、実行します。

C:\u00e4colinux-daemon.exe -c C:\u00e4colinux\u00e4colinux.xml --install-service coLinux Cooperative Linux Daemon, 0.6.3 Compiled on Sun Feb 5 20:25:03 2006

daemon: installing service 'coLinux' daemon: service command line: "C:\u00e4coLinux\u00e4colinux-daemon.exe" --run-service "coLinux" -d -c "C:\u00e4coLinux\u00e4colinux.xml" daemon: setting restart options daemon: service installed.

C:¥coLinux>





34. Windowsサービス化 (3)

「coLinux」というサービスが登録されています。

Network Servi		開始	目町	ローカル ソステム
🆏 Bluetooth Supp		開始	自動	ローカル サービス
🆏 Clip Book	クリップブックを使		無効	ローカル システム
🎭 co Linux			手動	ローカル システム
🆏 COM+ Event S	サポート システ	開始	手動	ローカル システム
🆏 COM+ Svstem	コンポーネント オ		手動	ローカル システム

登録を解除するにはサービス解除オプションをつけて、実行します。

C:¥coLinux>colinux-daemon.exeremove-service coLinux								
C∶¥co	Linux>				削除されています。			
	ഷ്ണൂ ലവസോസ പെറ്റം ആവോ	クリップブックを使	1#J%¤	日野 無効	ローカル システム			
-	🎭 COM+ Event S 🏶 COM+ System	サポート システ コンポーネント オ	開始	手動 手動	ローカル システム ローカル システム			
	🏶 Computer Brow	ネットワーク ዘመ	開始	自動	ローカル システム			





🗞 | それでは使おう!coLinux!

Have Fun!!





付録:おすすめDebian本



Debian GNU/Linux 徹底入門 第3版 Sarge対応 翔泳社(2005-08-04) (著)武藤 健志 新品価格:¥ 4,968 ASIN: 47981 02865



翔泳社(2005-05-24) (著)武藤 健志 新品価格:¥ 2,940 ASIN: 47981 09088

クリックで買えます。

